

玖珠町地域交通協議会

平成21年3月9日設置
平成22年3月24日連携計画策定



概要

玖珠町では、公共交通に係わる財政負担の増加や高齢者の移動手段の確保が求められる地域の増加、児童生徒の移動手段の確保などが課題となっており、地域公共交通を取り巻く状況は厳しさを増している。このような状況を改善すべく「高齢者の移動利便性の確保」「交通空白地域の解消」「児童生徒の通学手段の確保」の視点から公共交通を総合的に見直すことで、公共交通に係わる財政負担を抑制しつつ、地域間格差を解消して日常生活を支える持続可能な公共交通の実現を目指す。

○町内循環バス・ふれあい福祉バスの実証運行

玖珠町における公共交通ネットワークの構築に向けて、高齢者をはじめ児童生徒や観光客等も対象に、町中心部における主要施設や交通拠点を核に町内循環バスや町内の交通空白地域の解消に向けてのふれあい福祉バスの実証運行(3年間)を実施する。運行の効果等を検証し、毎年度必要に応じて運行内容の見直しを行う。平成23年度からは交通空白地域の乗合タクシーの導入を計画している。

○待合施設整備

実証運行にあたって必要となるバス停やバス方向幕の設置を行い、利用者の利便性確保を図る。イメージキャラクターなども検討し、誰でも町内循環バスということがわかるように努める。また、公共交通ネットワークの構築に重要となる町中心部における乗り継ぎ施設を整備する。これにより安心して公共交通機関が利用できるとともに、地域の活性化が図れるように取り組んでいく。

○バス利用促進に向けた取組み

町内循環バスやふれあい福祉バスをはじめとした公共交通の利用促進を図るため、乗り方・時刻表・運賃等の公共交通詳細情報を町民に提供する。ポスター等の作成・掲示等により、町民に対してバス利用促進の広報を行う。また、商工会等と連携して商店街活性化とバス利用促進の取組みを進めていく。

